

のか

- (2) 津城（三層復興櫓と石垣）の歴史的景観の保存に努めようとする基本姿勢は
- (3) 「三重県景観計画区域」としての主体的な取組みと今後の対応は

- (4) 個性と特性を活かした魅力的なまちづくりにおいて、PDC Aサイクル〔計画、実行、評価、改善〕の行政評価はどのように機能しているのか

問 ビルの2・3階を柱のみに、その空間から津城が観えるように

答 景観は、都市づくりの重要な視点と認識している。たとえば市民への開放・眺望スペース等、周辺景観への配慮について、可能な限り事業者と調整を図りたい。

た ばた たか と
田 端 隆 登

県都クラブ

●一般質問●

1 平成20年度4月1日付人事異動について

- (1) 19年度の評価と反省は
- (2) 1485人の異動は適正か
- (3) 短期異動者の内訳と理由は
- (4) 平成27年度2500人体制の見通しと業務量との整合性は

2 新任両副市長に問う

- (1) それぞれの使命と抱負は
- (2) 津市の抱える諸課題への姿勢は

3 津市政策アドバイザーの設置について

- (1) 設置に至った経過は
- (2) 具体的役割と職務権限は
- (3) 5名以内とした根拠は
- (4) 今後の人選と取り組みは

4 津市組織・職員活性化基本計画から

- (1) 今日までの取り組みと成果・評価は
- (2) 課題と今後の取り組みは

5 公務員のあるべき姿について

- (1) 元気な津市づくりから
 - ア 「参加と協働のまちづくり」への姿勢は
 - イ 公務員の責務と求められる人間像は

ウ 諸計画における位置づけとの整合性は

6 競艇事業部に関わって

- (1) 平成19年度決算見込みと評価は
- (2) 償還スケジュールと今後の財政見通しは
- (3) 生き残りのための今後の経営戦略は

7 津市勤労青少年ホームの活用について

- (1) 津市勤労青少年ホームの現況と評価は
- (2) 教育委員会における検討経過と小学校敷地利用否定の決定理由は
- (3) 地域自治会・藤水小学校・学童保育所の意見の掌握は
- (4) 改めて藤水小学校敷地も含め地域への活用を願う

問 手狭な藤水小学校敷地に、勤労青少年ホームの跡地の活用を

答 耐震上危険とされ現状での活用が困難な建物の問題が解消し、土地利用の観点から教育財産とし

て有効活用が望ましいとされた時は、関係部局と協議し検討したい。

8 学校給食完全実施に向けて

- (1) センター建設に向けての具体的なスケジュールは
- (2) 未実施校におけるセンター建設、設備整備と運用面の調整は

9 小中学校児童生徒へのヘルメットの取り扱いについて

- (1) 地域で異なる配布方法の検討状況は
- (2) 改正道路交通法との関連と取り組みは
- (3) 購入に戸惑う保護者に迅速な方針の周知を望む

10 PCBの管理について

- (1) 津市の保管状況は
- (2) PCBの有害性の認識は
- (3) 保管・管理体制は適正か
- (4) 今後の処理計画は

11 海上アクセス事業に関わって

- (1) 燃料費高騰による経営に与える影響は

▶ 地域要望に応えるべく活用方法の再考を（藤水小学校と旧勤労青少年ホーム）

